



祭祀舞  
務古津  
比売命

弓弦羽  
嶽大  
祓祭祀



M Saishi Nohmai  
ukotsuhime no mikoto

2018. 10.12

入場料 3,000円

2018.10.12 金曜日 18:30 開場 19:00 開演 20:15 終演予定

会場：弓弦羽神社 神戸市東灘区御影郡家 2-9-27 tel 078-851-2800

弓弦羽神社御鎮座壹千壹百七拾年  
奉祝記念事業 弓弦羽嶽大祓祭祀  
祭祀能舞

務古津比売命

— 宗派を超えて「自然神」を祀る —

総合監修

澤田政泰 弓弦羽神社宮司

詞章 総合演出

林田浩二 能楽普及協会代表理事

能楽監修

林宗一郎 観世流能楽師

河村和重 観世流能楽師

能楽プロデューサー

河村純子 能楽普及協会理事

務古津比売命

河村浩太郎 観世流能楽師

協賛

弓弦羽神社崇敬会

神戸甲南ライオンズクラブ

後援

灘五郷酒造組合

東灘区役所

神戸新聞社

製作

能楽普及協会

主催

弓弦羽神社



# 弓弦羽嶽大被祭祀

祭祀能舞

## 務古津比売命

【趣旨】

「弓弦羽嶽大被祭祀」は、従来の「熊野の神々のもと執り行われる祭祀」ではなく、社殿の背に聳える六甲山（弓弦羽嶽）自体を御神体とし、瀬織津比売命をモデルとした「務古津比売命」（巫女神）が宣り下して参集者の罪穢れを祓い清めるといふ「新たな大被祭祀」です。

原史（縄文後期）のアニミズム（自然崇拜）に端を発した日本文化は、渡来文化と混合される際、古いものが持つている内容のうち、積極的な要素が、新しく高い段階として保持されるとされ、文化の混合が何回繰り返されても、古いものが完全に消し去られる事なく、現在に至っています。

この現象を、哲学の概念では「止揚 aufheben」と呼びます。人々の思考の発展の過程で広く作用し、社会風土を熟成すると言われる「止揚」を意識した「弓弦羽嶽大被祭祀」が宗派を超えて多くの崇敬を集め、ひとの『よく生きる』に貢献することを切望しています。

【設定・あらすじ】

神職による「火鑽神事」を執り行い、清浄な舞台を整える。大被祝詞を奏上。祖神が授けた「太祝詞を奏上しなさい」と宣言する。巫女神 務古津比売命が現れ、天津祝詞の太祝詞（三種大被）を奏上すると、辺りの木々や社が輝き、神々しい白光色に包まれ、弓弦羽嶽そのものが「申体」（御神体）となって姿を現す。

太祝詞によるこんだ善女竜王も、嵐にひかれて現れる。

「ひとの願いを誓い奉れ。己の心に誓いを奉れ。そうすれば、ひとの心の罪穢れが祓われ、『よく生きる』ことができる。」——と、宣り下した務古津比売命は虚空に舞い上がり、全ての罪を祓い清める。祖神の下に行われた「ひとの誓い」をよるこび、

務古津比売命と善女竜王は共に舞い、申体 弓弦羽嶽に消えていく。



2018.10.12

18:30 開場 19:00 開演 20:15 終演予定

●祭祀能舞解説 林田浩二

●火鑽神事 祝詞奏上 澤田政泰 上山裕嗣 土井秀勝 中澤崇浩 村井伸彰 本澤雅孝 善見有滋

●祭祀能舞「務古津比売命」

務古津比売命 河村浩太郎

善女竜王 河村和晃

笛 杉信太郎

小鼓 曾和鼓堂

大鼓 谷口正壽

太鼓 井上敬介

地謡 河村和重 河村博重 田茂井廣道 河村和貴 樹下千慧

後見 林宗一郎 味方團

●主催者挨拶 澤田政泰

※出演者等 変更の場合は、御了承下さい。



入場料 3,000 円 全席屋外・自由 300 席

<会場> 弓弦羽神社境内 兵庫県神戸市東灘区御影郡家 2 丁目 9-27

阪急御影駅から南東へ徒歩 5 分 JR 住吉駅から北西へ徒歩 10 分 阪神御影駅から北へ徒歩 15 分

<お問い合わせ> 弓弦羽神社社務所 tel 078-81-2800 <https://yuzuruha-jinja.jp/>